橋梁修繕個別施設計画
【富田林市】

令和８年９月

目　次

1. はじめに

2. 対象施設

3. 計画期間

4. 対策の優先順位の考え方

5. 個別施設の状態等

6. 対策内容と実施時期

7. 対策費用

1. はじめに

本市では、従来の事後的な修繕および架け替えから、予防的な修繕および計画的な架け替えへと転換を図り、橋梁の長寿命化により、修繕や架け替えに係る費用の縮減と平準化を図ることに加え、新技術等の活用の検討を行い、令和 9 年度までに修繕する橋梁の約 8 割で費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術を活用し、費用を 1 割程度縮減することを目指します。また、迂回路が存在し、利用者が限定的な橋梁については、令和 10 年度までに 1 橋程度の集約化・撤去を検討し、令和 15 年度までに維持管理費用約 1 百万円程度コスト削減することを目指します。更なる費用の縮減や事業の効率化などに努めることを目的に、橋梁の個別施設計画を策定するものである。

2. 対象施設

富田林市における 2m以上の橋梁７７橋を対象とする。

3. 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、５年とする

4. 対策の優先順位の考え方

点検結果のⅣ、Ⅲの橋梁の中から防災上、生活上、規模等を考慮し修繕の優先順位を決定する

点検結果

Ⅳ	○
Ⅲ	○
Ⅱ	×
Ⅰ	×
その他	30

防災上

緊急輸送路	100
緊急交通路（市指定）	30

生活上

バス路線	30
公共施設へのアクセス	20
大型商業地へのアクセス	20
迂回路の状況	20

規模

橋長１００ｍ以上	80
３０ｍ以上	30
３０未満１５ｍ以上	20
１５ｍ未満５ｍ以上	10
５ｍ未満	0

施工順序については、現場及び近隣状況を加味し決定する。

5. 個別施設の状態等

判定区分Ⅰ	判定区分Ⅱ	判定区分Ⅲ	判定区分Ⅳ	計
63 橋	12 橋	2 橋	0 橋	77 橋

6.　対策内容と実施時期

（百万円）

橋梁名	路線名 所在地	架設年	橋長 (m)	幅員 (m)	構造	点検 結果	措置 内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	優先 順位	対策 費用
28 号橋	甘南備 5 号線 大字甘南備	不明	11.4	3.0	H型 鋼	Ⅲ (R4)	断面 修復	設計 (7)	30				1	37
7 号橋	若松 7 号線 若松町二丁目	不明	3.8	6.5	H型 鋼	Ⅲ (R4)	断面 修復		設計 (7)	30			2	37
向陽橋	金剛東 3 号線 藤沢台六丁目	1976	24.2	19.0	PC 桁	Ⅲ (R6)	断面 修復			設計 (7)		50	3	57
対策費用　計							過年度分 400	26	37	37	30	50		(551) 点検費無 580

※点検結果に記載の年度は前回点検年度を表す

※R6 橋梁点検 17 橋　　R9 橋梁点検 61 橋

点検費 19　　点検費 30

7. 対策費用

計画期間	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年
概算費用	26 百万円	37 百万円	37 百万円	30 百万円	50 百万円